

活動事例紹介

寺島環境保全会〔岩沼市〕

地区概要	取組面積：63.6ha（田58.3ha，畑5.3ha） 資源量：水路10.4km 農道8.6km ため池 一箇所
令和4年度交付金	農地維持支払交付金 1,299千円 資源向上支払（共同活動）交付金 923千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 ー千円
地域の概要	本地域は岩沼市の南東に位置しており、阿武隈川下流にある地域です。県営圃場整備事業により大規模圃場に整備した田園が広がっている長閑な地域です。震災後に建設された南北に伸びるかさ上げ復興道路が走っており、トラックなど大型車の往来も激しく交通量が多い地域でもあります。
取組みの概要	保全会は、土地持ち非農家の方を含む寺島集落の方々を中心に寺島生産組合やPTA、子ども会と協力し合って活動を行っております。 農地維持活動では、水路等の点検・機能診断、側溝や用水路の泥上げ、農道や水路法面の草刈りなどを実施しています。 資源向上活動では、農地・水路・農道のゴミ拾い、遊休農地を活用して花壇を設置しPTA・子ども会・町内会等の協力のもと植栽活動を実施しています。
取組みによる効果	遊休農地を構成員やPTA・子ども会など全員参加で植栽活動を行うことで、地域住民のコミュニケーションが向上し団結力がさらに強まっています。遊休農地を活用して植栽を植えることで雑草対策として荒廃を防ぎ、景観の向上にも繋がっています。
今後の課題	本地域では、震災により数世帯の住民が集団移転をしたことや高齢化により、人手不足から活動面積に対する一人ひとりの負担が大きくなっています。 また、用水路が深いため泥上げ作業が重労働になっていること、機械を使用した草刈りが急斜面での作業であることで大変苦労しています。
その他	集落の草刈り作業や清掃活動、植栽活動を通じ、普段顔を中々合わせる機会が少ない子どもや働いている若者たちなど地域住民が定期的に顔を合わせる交流の場となっています。



令和5年度総会



堀の泥上げ



植栽等の景観形成活動



水路の草刈り作業



遊休農地の安全管理



水路の草刈り